

# 中東・北アフリカ地域・アフガニスタンに対する我が国ODAの成果と課題

外務省国際協力局  
(本資料全体のデータは平成29年10月時点のもの)

## 1 日本にとっての支援の意義

### ● エネルギー資源の宝庫，我が国シーレーンに位置し，物流の要衝



- 日本の原油輸入の約8割，LNG輸入の約2割
- ホルムズ海峡，スエズ運河は世界の物流の要衝

- 中東を起源とする暴力的過激主義は日本の安全保障にも影響
- アフガニスタンの安定は地域の安定のみならず，テロと闘う国際社会全体の安全確保にも不可欠
- 責任あるグローバルプレーヤーの役割 (積極的平和主義の実践)

中東地域の平和と安定は，日本の安定と安全・繁栄に直結。

## 2 実績と成果

- 2016年G7伊勢志摩サミットにおいて，2016年から18年の3年間で，約2万人の人材育成を含む総額約60億ドルの**中東地域安定化のための包括支援**を表明

### 中東地域への安定化支援

- 経済開発・社会安定化支援等
- 社会不安定化の背景にある若年層失業，地域間格差といった問題に対処するため，公共部門改革，産業振興等を通じた雇用創出，農村開発，教育の質の向上等に資する人材を3年間で約2万人育成。

### JICA専門家等の人道支援チームの派遣

- JICA専門家等の人道支援チームを難民キャンプや受入国・社会に派遣し，人材育成や地域開発等に直接貢献。3年間で約50名派遣。

### シリア人留学生の受入れ

- シリア危機により就学機会を奪われたシリア人の若者に教育の機会を提供し，将来のシリアの復興を担う人材を育成する観点から，JICAの技術協力等を活用し，5年間で最大150名のシリア人留学生を受入れ。

### ● 日本企業の中東進出にも貢献する支援

- イラク・バスラ製油所改良計画
- エジプト・カイロ地下鉄四号線第一期整備計画
- トルコ・ボスポラス海峡横断地下鉄整備計画 等

- 親日感情の醸成
- 日本技術への高い評価
- 国際社会からの高い評価



カイロ地下鉄四号線



バスラ製油所

## 3 第1回日アラブ政治対話における河野外務大臣スピーチ

- 2017年9月，河野外務大臣は第一回日本・アラブ政治対話において，日本の中東政策に関するスピーチを実施。今後の外交の基本姿勢として，「**河野四箇条**」(①**知的・人的貢献**，②**「人」への投資**，③**息の長い取組**，④**政治的取組の強化**)を発表
- また，**新たな5つのイニシアティブ**(①**平和と繁栄の回廊**構想のグレードアップ，②**シナイ半島駐留多国籍軍監視団(MFO)への更なる貢献**，③**教育・人材育成分野での協力拡大**，④**政治的取組の強化**，⑤**難民，人道・安定化に関する新たな支援**)を表明

